



# 高崎市立城南小学校

城南小学校は、住宅街の中にあり、日常的に自然とふれあう機会は多くありません。しかし、近くには烏川が流れ、校庭には季節ごとに鳥の鳴く声が響きわたり、自然を感じられないわけではありません。身近な環境や自然に自ら気づき、積極的に環境にかかわり、整えていこうとする子どもたちの育成を目指して、学校全体で環境活動に取り組んでいます。

## 1. 学校の取り組み

本校では、代表委員会所属の5、6年生が中心となるとともに、各学年の教科や道徳等の時間とも合わせ、学校生活全体を通して、環境に対する意識を高めていけるように取り組んでいます。

今年度も、児童が行える活動が制限されています。コロナ禍の今は、環境活動の一環として「ペットボトルキャップ回収」を行っています。回収箱は、児童玄関に置かれていますので、ペットボトルキャップを持参する児童がたくさんいます。児童玄関には、PTAが設置しているベルマークの回収箱も置いてあります。また、使用済みのプリンターのインク回収も行っています。

また、城南小ISO活動を広く全校に広めようと児童が作成したポスターを引き続き掲示し、意識を高めていこうとしています。

身近な毎日の生活の中で、気持ちのよい環境を整えようと、協力してきれいに掃除をすることやトイレのスリッパを整えることを心がけています。今後、感染症が落ち着いた際には、掃除や環境整備の仕方を1～6年生が縦割り班に分かれ、上級生から下級生へと掃除の仕方を伝える「たてわり清掃」も今後実施していく予定です。



↑インク・ベルマークの回収箱

←今年度回収した  
ペットボトルキャップ



↑玄関の中を温かい雰囲気になっている飾り付け（保護者・地域ボランティア）

## ☆各教科の学習を通して

1年生、2年生、3年生では、生活科や理科の学習を通して、アサガオ、サツマイモ、トマト、オクラ、ピーマン、ヒマワリ、ワタ、ホウセンカなどの野菜やお花を花壇に植えて育てています。

それぞれの学年で、収穫した野菜を大切に持ち帰り、おいしく食べることができて子どもたちが、栽培の楽しさや、喜びを感じることができていました。



## ☆みんなの力で！

### 《保護者や地域の方々との連携》

保護者や地域の皆さんは、学校の環境活動を支援してくださっています。

一歩玄関に入ると、環境ボランティアの方による季節に応じた飾り付けがあります。ひと工夫されていて、子どもたちの心を温かくしてくれています。

夏休みの終わりには、「親子環境活動」は、今年度もコロナ感染症拡大防止のため中止となりましたが、例年、草むしり等の活動を行い環境整備に努めています。

このように、保護者も含めて、城南小みんなで、気持ちのよい生活を送れるように、その環境を維持していこうという気持ちが続けられるように取り組んでいます。

以上のような活動を通して、子どもたちは周囲の環境に関心を持ち、自分たちでよりよい環境を整えていこうとする意欲や態度が育ってきています。

環境活動は学校だけでは成り立ちません。家庭や地域にも情報を発信して、理解を図り、連携・協力を推進していきます。これからも、子どもたちの環境への関心・意欲を高め、家庭・地域と連携しながら、よりよい環境の創造を目指して実践を進めていきたいと思っています。